

テーマ「迷いながら仕事をしない」

以前の施設である管理者から相談を受けたことがある。その相談内容とは、「自分は管理者が務まるのか、その能力があるのだろうか、できるのだろうか悩んでいる」と

私はこうアドバイスした。「あなたはできないとしたらやめるのですか？」しばらく考えて「やめれない」と答えたため、「やめれないで、やるしかないのだとしたら、できるかどうか、能力があるかどうか、迷い、悩むことに意味がありますか？やるしかないのなら、できるかどうか考えても何の意味もない、やるだけです。どうしたらできるかを考えてやるだけです」とアドバイスしました。

その管理者は目が覚めたように、迷いが消え、目の前にある自分の仕事に打ち込むようになりました。迷いの本質は、心が定まっていない証拠。迷いは、自分で自分を苦しめている行為とおなじ。

どうしていいか、分らなかつたら聞けばよい。聞いてすればいいのだから、できるかどうか、迷う必要はない。できなければ、できるようになるよう努力すれば、それでいい。迷うことではない。

迷いを断ち切る、それは、人生において時として必要。その迷いを断ち切る言葉が人を救うことがある